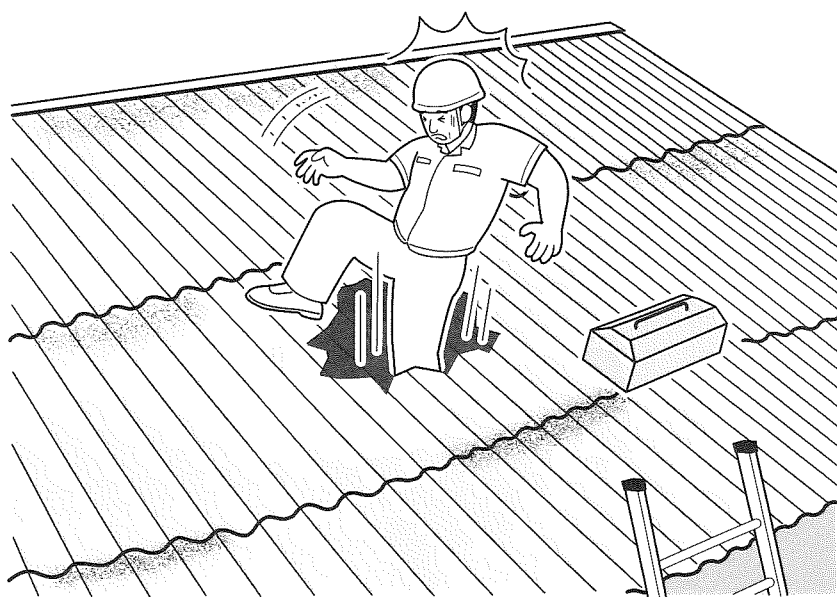


## 雨漏りの点検と応急修理をしながら 物品倉庫のスレート屋根を踏み抜いて重傷

《災害のあらまし》職場に隣接した鉄骨平屋の物品倉庫(40㎡)で雨漏りがするので、漏れ箇所  
の点検と修理をするため、当該職場の作業員(男  
性・56歳)が、高さ約4mのスレート屋根に上っ  
て点検を行っていた際、スレートを踏み抜いて  
墜落し、腰椎骨折などの重傷を負ったものです。



### 《災害の主な原因》

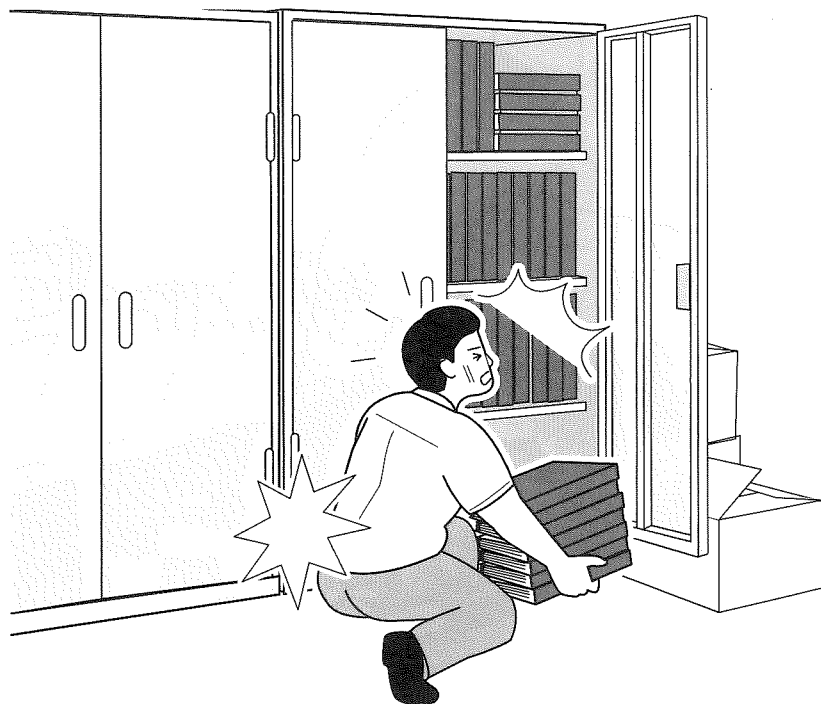
- ①上司等に連絡せず独断で、踏み抜き等の危険がある老朽化したスレート屋根に上ったこと。
- ②歩み板の設置など、スレート屋根での作業に必要な安全対策を行っていなかったこと。
- ③梅雨の大雨の後で、屋根の工事業者が不足している、修理等を依頼できなかったこと。
- ④スレート屋根に上ることの危険性とその対策について、事業場や職場で共有されていなかったこと、など。

### 《同種災害の防止対策例》

- ①スレート屋根等、踏み抜き墜落の恐れがある場所の作業については、作業前に墜落防止対策等について十分検討して実施する。
- ②スレート屋根等の上で作業を行うときは、歩み板の設置など、労働安全衛生規則等で定める安全対策を実施する。
- ③専門の工事業者以外の者にスレート屋根の点検や補修工事等を依頼する場合は、特に「段取り」、「安全対策」、「作業監督」を厳重に行う、など。

# 月曜の朝、書類を持ち上げてギックリ腰

被災者は腰痛予防などの知識がなかった



《災害のあらまし》事務作業者（男性24歳・勤続2年）が、朝の始業直後、事務所内の書類ロッカーから書類ファイル7冊（約5kg）を取り出し、自分の席まで運ぼうとして書類を持ち上げた際、腰部に激痛を受けて動けなくなり、急性腰痛症（ギックリ腰）で入院7日間の災害となったもの

です。

## 《災害の主な原因》

- ① 不用意に低い位置から物を持ち上げようとしたこと。
- ② ロッカー付近に物が置いてあったため、ロッカーの扉が全開できず、不自然な姿勢で書類を取り出し、持ち運ぼうとしていたこと。
- ③ 腰痛予防の安全衛生教育等を受けたことがなかったこと。
- ④ 土日休業明けの月曜始業直後で、気持ちも体も作業になじんでいなかったこと、など。

## 《同種災害の防止対策例》

- ① 物を持ち上げるときは、軽いモノでもひざを折って背筋を伸ばし、体の正面で持ち上げる。
- ② ロッカーの周辺の整理・整頓を実施し、不用品などは置かない。
- ③ 休日明けの月曜の朝は「ギックリ腰の特異時刻」です。柔軟体操などで腰痛予防を。
- ④ 事務等の従業員に対しても、必要な安全衛生教育や始業時の体操などを行う、など。

# 破碎ローラーに巻き込まれて右足切断

## 処理物を足で押し込んでいた



《災害のあらまし》廃棄物の処理工場の破碎装置で、短期アルバイト作業員（男性・22歳）が、処理物の一部が破碎ローラーに噛まれなくなって浮いていたので、右足で踏みつけて押し込んだところ、足が破碎ローラーに巻き込まれ、病

院で右足のひざから下を切断する重傷を負いました。

### 《災害の主な原因》

- ① ローラーが処理物を噛まないときは、専用の用具で押し込んだり、排除することになっていたが、守られなかったこと。
- ② これまでも足で押し込むことがあり、そのため、安全柵が取り外したままであったこと。
- ③ 足でローラーに押し込む危険な作業が黙認されていたこと。

④ 安全衛生教育やOJT（現場に即した教育・訓練）が実施されていなかったこと、など。

### 《同種災害の防止対策例》

- ① 安全柵を外した際は、破碎ローラーが停止する構造にする。
- ② 不安全な行動等を発見したら、黙認しないで忠告したり注意をして中止させる。
- ③ 破碎物を押し込む等の異常作業を無くすように装置・機械等の改善を行う。
- ④ 短期アルバイト等に対する安全衛生教育の基準を定めて実施する、など。

事故・災害事例から

# 労災・事故速報

(最近の新聞等から)

- ・段ボール回収車に巻き込まれ作業員死亡。5月30日午後、島根県益田市のショッピングセンター荷物搬入口で、段ボールの回収作業をしていた60代男性作業員が、ゴミ収集車の回収口に巻き込まれて死亡。(山陰中央新報)
- ・災害復旧中にクレーン横転、運転者が死亡。5月29日午後、鹿児島県曾於市の災害復旧工事現場で、県道沿いの林地の斜面崩落を防ぐ工事のクレーン車が横転、運転していた70代男性作業員が下敷きで死亡。(南日本新聞)
- ・橋の補強工事中に重機ごと川に転落、死亡。5月28日午前、埼玉県越谷市の橋脚補強工事現場で、船上で作業中の70代男性作業員が、運転していたショベルカーごと川に転落し死亡。雨の影響で水嵩が増していた。(TBSニュース)
- ・イノシシ運搬中に斜面から転落、死亡。5月26日午前、福島県郡山市の山道で、有害鳥獣駆除でワナにかかったイノシシを運搬していた60代男性が、斜面から約2m下の林道に転落して死亡。(福島民友新聞)
- ・工場の屋根で作業中に落下、死亡。5月25日午前、埼玉県加須市の金属製造工場、金属製の屋根の張り替え作業をしていた70代男性作業員が、約6m下のコンクリート地面に転落して死亡。(埼玉新聞)
- ・ショベルカーがため池に転落、作業員死亡。5月24日午前、茨城県神栖市の建築資材会社で、コンクリートの材料の砂をため池で洗浄する作業中の80代男性作業員が、操作していたショベルカーごとため池に転落し死亡。(茨城新聞)
- ・加工中の鉄柱が落下、作業員が重傷。5月21日午後、兵庫県姫路市の金属加工工場、加工中の鉄柱(高さ約1m、重さ約3t)が固定台から外れて近くで作業をしていた30代男性作業員の足元に落下し、作業員が重傷。(神戸新聞)
- ・飼育員がバクに噛まれて重傷。5月20日午後、群馬県富岡市のサファリパークで、マレーバクのブラッシングや餌やりをしていた20代女性飼育員が、右前腕などをバクに噛まれて骨折などの重傷。(共同通信)
- ・貨物船の倉庫で2人が酸欠状態。5月20日朝、宮城県石巻港に係留中の貨物船で、積込作業をしていた50代男性作業員2人が船内の倉庫で酸欠状態で発見され、1人が意識不明。(東北放送)
- ・遭難者を捜索中の警官がクマに襲われケガ。5月18日午後、秋田県鹿角市の山林で、男性警官2人(20代・40代)が山岳遭難者を捜索中、クマに襲われて負傷。(共同通信)
- ・屋根のふき替え作業中に転落、死亡。5月17日午前、三重県いなべ市の鉄工所で、高さ3.5mの屋根のふき替え作業をしていた60代左官業男性が、屋根の鉄骨のない部分を踏み抜き転落して死亡。(伊勢新聞)
- ・トラックの荷台と倉庫のシャッターの間に挟まれ死亡。5月14日午後、新潟県上越市の業者の倉庫で、クレーン付トラックを運転していた40代男性が、降りたトラックの荷台と倉庫のシャッターの間に挟まれて死亡。(新潟日報)
- ・解体工事現場から作業用具が落下、通行人がケガ。5月14日午前、北海道札幌市の立体駐車場解体工事現場で、5mほどの高さのロープから作業用具(カラビナ)が外れて落下し、通行人の30代女性の頭に当たりケガ。(北海道放送)
- ・1500度の溶鋼鍋から人骨、作業員が転落か。5月14日午前、大分県大分市の製鉄工場の溶鋳鍋(直径5m・深さ約4m・中部の温度1500度)から人骨を発見。行方不明で捜索中だった30代男性作業員が作業中に転落したとみられる。(朝日新聞)
- ・飲料製造工場で作業中、指を挟まれ重傷。5月12日午前、群馬県明和町の飲料製造工場、トラックの荷台に積み込み作業をしていた20代男性作業員が、積み込んだパレットとパレットの間に右手指を挟まれ重傷。(上毛新聞)
- ・牧場で馬に蹴られて従業員が重傷。5月11日午前、北海道新冠町の牧場で、競走馬の交配作業をしていた40代男性従業員が、種牝馬の右後方で作業中、馬に蹴られて重傷。(共同通信)
- ・工場の屋根の修理中に転落、死亡。5月9日午後、愛知県豊田市の自動車部品工場、屋根の雨漏り修理をしていた40代男性作業員が、割れた屋根の一部(高さ約9m)から転落して死亡。(CBCテレビ)
- ・コンクリートの一部が落下して作業員が重傷。5月9日午後、沖縄県宮古島市のホテル建設現場で、天井部の型枠資材が外れてコンクリートの一部が落下し、20代男性作業員が骨折やぼうこう損傷の重傷。(沖縄タイムス)
- ・住宅建設現場でクレーン車が横転。5月9日午前、愛知県名古屋市の住宅建設現場で、荷物を吊り上げたクレーン車が横転し、倒れた際にアームが周辺の住宅を直撃。また、電線に触れて周辺の約1700戸が一時停電。(CBCテレビ)
- ・整地作業中、重機の下敷きで死亡。5月8日午後、埼玉県久喜市の空き地で、一人で整地作業をしていた20代男性作業員が、操作していた重機の下敷きになり死亡。(埼玉新聞)
- ・間伐作業中に伐採した大木が当たり死亡。5月6日午後、愛知県岡崎市の山林で、間伐作業をしていた70代男性作業員が、伐採した大木(長さ約30m、直径約30cm)が頭に当たって死亡。(中国新聞)
- ・飲食店の厨房でカセットボンベが爆発。5月5日夕方、静岡県静岡市の営業中の飲食店(カフェ)で、厨房のカセットコンロが爆発し、経営する60代夫婦がケガ。(静岡第一テレビ)
- ・ビル3階で作業中に窓から転落、死亡。5月2日午後、三重県松阪市で、ビルの3階で室内の壁紙を張り替える作業をしていた60代男性作業員が、高さ約8.2mの窓から誤って転落して死亡。(伊勢新聞)
- ・鋼材が倒れ上半身挟まり死亡。5月2日午後、兵庫県姫路市の製缶工場内で、地面に置かれた鋼材(高さ2m・重さ約1t)数個をクレーンで別の場所に移す作業中、鋼材の1つが倒れ、50代男性作業員が上半身を挟まれて死亡。(神戸新聞)